

(仮称) 南こども園創設に係る保護者説明会

- 1 開催日時 平成25年2月4日(月) 9:15～11:15
- 2 開催場所 南幼稚園リズム室
- 3 出席者 (事務局) 峯島教育総務部長、真銅教育総務課長、伊東教育指導課長、  
吉岡教育総務課課長補佐、浅井教育指導課課長補佐  
池田福祉健康部長、吉川こども課長、水野こども課課長補佐  
(南幼稚園) 平田園長

(園長、事務局)

【挨拶】

(事務局)

【出席者紹介】

(事務局)

【説明】

4 主な質疑内容

参加者：工事中は仮園舎として生駒南小学校を使うということだが、小学生と幼稚園児がグラウンドを一緒に使うときに、危なくないのか。

事務局：H27年度、1年間のみ生駒南小学校を借りる予定であり、グラウンドの使い方や施設についてはこれから検討することになる。小学校の前にはみなみ保育園もあるので、そこを活用することも考えたい。

参加者：幼稚園バスの乗り入れはどうなるのか。今は歩いて通っているが、南小学校までとなると遠くなるので、通園バスを利用することになる。その場合、何らかの補助はされるのか。

事務局：バスは小学校の中に乗り入れる予定であり、小学生の通学の時間帯とバスの時間帯にはずれがあるので大丈夫だと考えているが、安全を期したい。通園バス代については、現状通りということでご理解いただきたい。

参加者：制服やかばん等はどうなるのか。すでに通っている園児については買い直しになるのか。

事務局：H28年度の開園に向けて、保護者に新たな負担が生じることのないよう新しく買う場合にはこども園のものを買ってもらするなど少しずつ変えていって、最終的

には統一していきたい。

参加者：H28年3月の卒園式は仮設園舎で行うことになるのか。

事務局：工事の進捗状況によって判断することになるが、新園舎を使えるようなら新園舎で行いたい。そうでないときは、たとえば南小学校の体育館や多目的室を使うなど、その時の状況を見て判断していきたい。

参加者：南小学校を借りるときに、5歳児は小学校のトイレでも大丈夫だと思うが、3歳児、4歳児はどうするのか。また、遊具等ははどうするのか。そこまでしてこども園にする意味はあるのか。

事務局：小学校の教室をそのまま使うことはできないので、トイレも含めて改修させていただく。

生駒市では幼稚園と保育園は統一のカリキュラムを作って就学前教育をしようとして取り組んでいる。子どもたちが共通の時間を持ち横のつながりを持って、小学校へのつながりをなめらかにしていこうという取組の一つとしてもこども園がある。中身については、これから考えていかなければならない部分もあるが、幼稚園と保育園の良いところを生かしていきたい。

こども園はすでに県内でも奈良市、橿原市等で行っているが、こども園のメリットを生かしながらやっていきたいということで今回ご提案させていただいており、ご理解いただきたい。

参加者：いろんなところにお金がかかるし、話し合いの時間が短すぎる。どうしてここだけ急ぐのか。

事務局：H28年度からということで、あと3年ある。その間にご意見やご要望を反映していきたい。平成18年度から小・中学校の耐震補強工事を順次進め、H23年度で完了した。幼稚園の耐震化についてはH24年度から工事を実施している。補強だけだと工事内容によっては夏休み期間で工事が終わる場合もあるが、幼稚園、保育園については、補強だけで済むところと建て替えが必要なところがある。今年度は生駒幼稚園で工事を実施し、来年度はあすか野幼稚園と俵口幼稚園の予定である。南幼稚園は、みなみ保育園も耐震化されていない状況等もふまえ、今回の計画になった。

昨年11月から南幼稚園、みなみ保育園のこども園化に向けて、懇話会を開催していろいろなご意見をいただいております。今後も説明の機会をもっていきたい。

参加者：南幼稚園の前の道は通園時間も車の通行も多いが安全性はどうなるのか。今でも危ないのに保育園の子どもも通るようになると余計に心配である。

事務局：それについては今後の検討課題ということで、よい方向を探っていきたい。

事務局：保育園の子どもは、南コミセンに車をおいてベビーカーで来られており、ほとんどが9時までに登園されている。時間帯は異なるので重ならないと思うが、安全対策については十分検討していきたい。

事務局：保育園は登園の時間帯が早い。また、駐車場の場所や駐車場からの動線を振り分けるなど方法はいろいろあると思うので十分配慮していきたい。今、具体的な案は出していないが、検討していきたい。

参加者：グラウンドや教室の広さはどうなのか。

事務局：園舎は2階建てにする予定である。こども園なので調理室もつくるが、園舎をまとめられるのでグラウンドも今より広くなると考えている。

参加者：今までも3、4、5歳児は、順番に園庭を使って遊んでいる。0、1、2歳児も入ってくると時間を分けて遊びをすることになるが、3、4、5歳児は今までのような遊びの時間が確保されるのか。例えば、今のみなみ保育園の敷地にも遊具を作ってはどうか。

P T A活動は、保育園は親が働いているのであまり活動できないと思うが、どうなるのか。

事務局：現在も保育園では0～5歳児をあずかっているし、中保育園、ひがし保育園では約220人おり多くの園児を預かっている。子どもたちのふれあいも大切だし、保育園では遊び場所を分ける等の工夫もしている。小さい子は中庭で遊んでいたりするし、我々が心配するより子どもたちはうまく対応してくれると思う。保育士がしっかり指導計画を立ててやれば問題はないと思う。

P T A活動は、保育園でも親がいろいろな行事に参加してやっている。他市の状況を参考にしながら、歩み寄れるところは歩み寄ってやっていけたらと思っている。また、生駒市独自のものも考えていきたい。

事務局：みなみ保育園の遊具も活用できたらと、担当としては考えている。

参加者：横のつながりと言われたが、食事も給食の子とそうでない子がいる、昼寝をする子がいて、降園する子もいて、違う行動をすることが子どもたちにとってはわからないと思う。幼稚園（短時間利用）のクラスと保育園（長時間利用）のクラスを全く分けてもよいのではないか。なぜ、同じクラスにするのか。夏休みも、幼稚園は休みで保育園の子は来ている。何の利点があって一緒にするのか。

事務局：幼稚園と保育園の目的は法の上では異なっているが、両方とも就学前の年齢の子

どもを対象としているところは同じである。子どもたちが心身ともに健全に育つために、幼稚園と保育園のよいところを生かしていけたらと思っている。そのために、幼稚園と保育園の教育内容も生駒市の統一カリキュラムを作って同じように行っている。幼稚園と保育園のよいところを生かしてやっていけると思うので保護者も見守ってほしい。

小学校へ上がったときのために、小平尾保育園とみなみ保育園で交流も行っている。幼保でカリキュラムのすり合わせをもっとしていきたい。

事務局：市としては、5年、10年、20年の長期を見通したときにどうなるかということで、今後は、幼稚園は園児が減ってきて、保育園は増えると思う。そういうことを考えると、混合クラスの方がいいと思う。県内他市でもこども園があるが、言われたような懸念はないと聞いている。

参加者：幼稚園（短時間利用）は2時までで、保育園（長時間利用）はそれ以降もあるが、その2時間の差をカリキュラムでどう埋めていくのか。

事務局：午前中のカリキュラムを考えている。午睡の時間から後は、幼稚園の預かり保育と同じような形の保育体制になる。今話しているのは、午前中の共通の保育のことである。

参加者：保育園の後の2時間はどうなるのか。

事務局：幼稚園も保育園も9時から2時までには同じように保育を行う。そのあとは、幼稚園児のお母さんもよくご存じのように、違う年齢の子どもたちと遊んだりしている。預かり保育のようなことを保育園でも行っていると考えてもらえばよいと思う。また、保育園は今でも帰る時間がばらばらなので、2時以降は統一カリキュラムになっていない。

参加者：保育園の3歳児と幼稚園の3歳児では差があるのではないか。

事務局：幼稚園では今でも3歳から入ってくる子と4歳から来た子は年度当初は差があるが、担任のフォロー等によってうまくいくように取り組んでいる。

事務局：ひがし保育園等人数の多い保育園では、3歳児が1クラス増えるということもあり、3歳から入ってくる子もいる。経験によって差が出てくると思うが、4月から1学期の間はいろいろ見ていかなければならない。しかし、夏休みを過ぎると差はなくなってくる。また、3歳の前半までは月齢によって発達の差はあるが、運動会を過ぎたころからしっかりしてくる。3歳の後半ぐらいからは、育ち合うということで子どもたちの中の自立も大切な時期だと思う。

参加者：3歳児はクラスを分けた方がいいのではないかと。以前幼稚園の先生が3歳からいる子より4歳から新たに入った子を中心的に見なければならぬ状況があるとおっしゃっていた。

事務局：年度当初は4歳から入ってきた子に配慮しているが、3歳から入園している子を放っておくというようなことはしていない。

事務局：今のところ3歳児は担任と介助講師の2人体制でいけたらと考えているが、今後とも検討する。

事務局：不安に思っておられるのはよくわかるが、先日開催した保育園の保護者説明会ではあまりそういう意見はなかった。

最初はそういう子どもたちに合わせながら、徐々に保育を高めていかなければならないと思っている。詳細に決まっていぬこともあるが、耐震化のこともあるし、保育園の担当者としては早く、安全に、そして良いところを生かしてやっていきたいと思うのでご理解いただきたい。

参加者：あまり環境を変えずにやっていけるように、職員の入れ替わりがないよう信頼関係のある先生を配置してほしい。

保育園の先生、幼稚園の先生の配置はどうなるのか。

延長保育を利用して仕事をしたいのか。

事務局：担任を含めて、継続性のある人事も考えたい。

事務局：預かり保育については、市内の他の幼稚園と同じである。免許については、幼稚園教諭と保育士の両方の資格を持っている人を配置する。

参加者：どんな理由でも、預かり保育を利用できるのか。

事務局：最初の頃より預かり保育の要件については随分緩和してきた。具体的な内容については、園長に相談してほしい。

参加者：保育園の入所についての手続きはどうなるのか。

事務局：保育園（長時間利用）の入所については今までと同じである。4月から働く予定だとすれば、12月頃からの募集に申し込んで仕事を探し、仕事が見つからなければ幼稚園という選択も可能である。但し、保育園は必ずみなみ保育園に入れるという訳にはいかない。

参加者：同じこども園であっても、幼稚園（短時間利用）から保育園（長時間利用）、保育

園から幼稚園に変わるときは手続きが要るのか。

事務局：幼稚園（短時間利用）は希望者全員を受け入れるが、保育料も変わってくるので、手続きが必要である。

参加者：夏休みだけ長時間で預かってくれるようなことはあるのか。

事務局：生駒幼稚園では長時間預かり保育を行っているが、ここでは今のところ現状の幼稚園と同じ取り扱いとし、こども園として安定した後に検討したい。

耐震について、南幼稚園は耐震性が低く改築が必要である。また、こども園を建てるから南小学校の仮設園舎が必要なのではなく、幼稚園として建て替える場合でも仮設園舎は必要となってくる。さらに、現在の園庭に仮設園舎を作ると、質問があったように園庭の狭さなどの問題が出てくるので、南小学校をお借りすることを考えた。

参加者：先生の数や保育料は、今と変わらないのか。

事務局：変わらない。

参加者：3年先というのは近い将来のことなので、もっと準備期間をもってほしい。